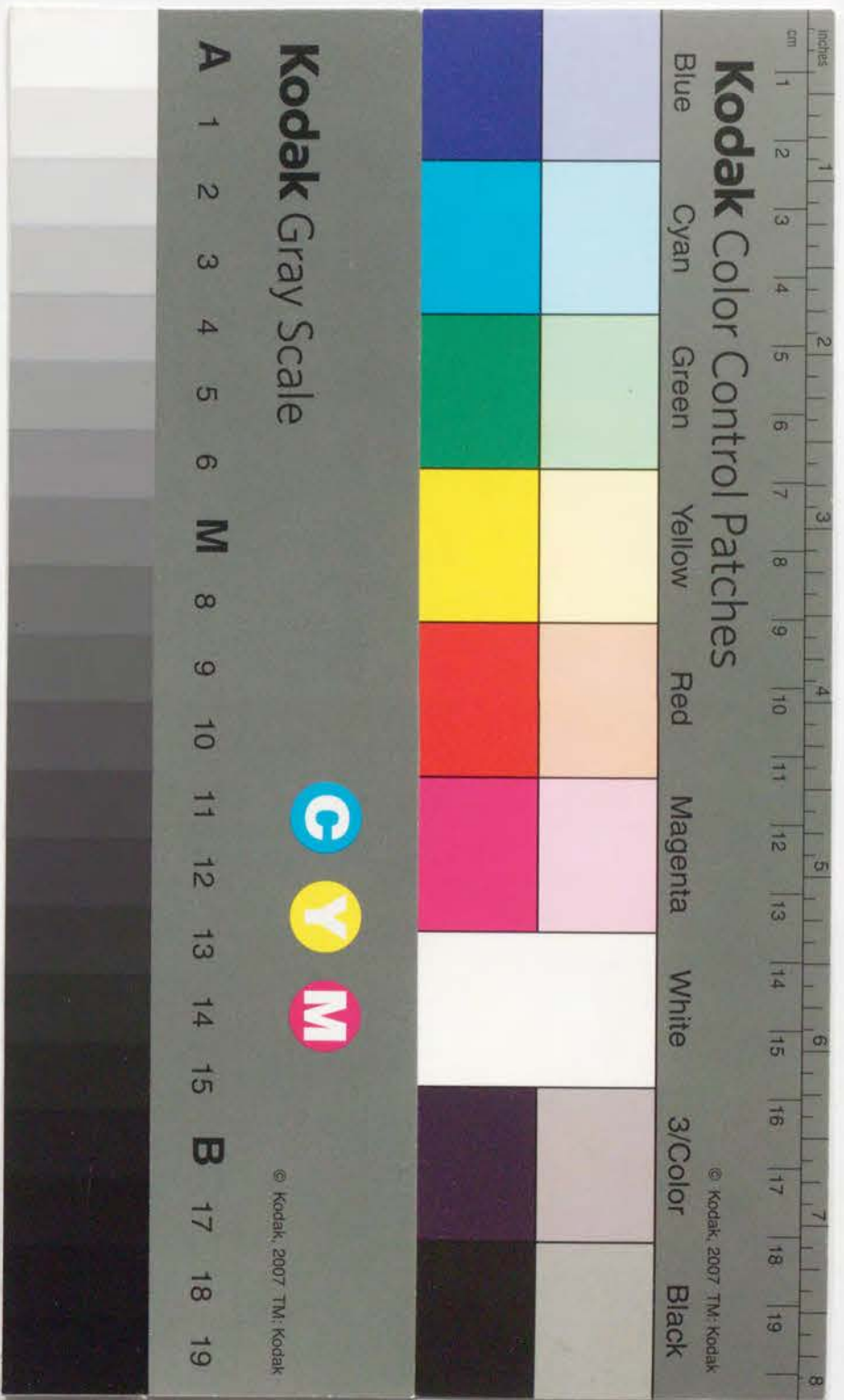




二十四孝詩解

大序

父ハ賢史として育國之才ハ家として翁才一のいつつとよの母ハ妙こ
まき人ふて心ひびくところと此とを兼ハ孝行才一ありてつとこ父
母バとうとうとくふの月で我カバせめて父母妙く我バあ
こもハ孝行のわざとゆ天我バいすめあふかと地またれ
かすこもよきこハハ孝行の徳よりりて民の才よりて王位
おのかりのふ大の字バ付る事ハ。聖人ふてましますこと
とて書

改々耕春象紛々粉草禽
嗣光登宝位孝感勅天心

此詩ハいづこ民ふてすすん時の事バ化かこハ時の名ハ書花こし
二十より四之寐王とがりのふ時ハ二十三の市事なり。改々こハ
がひよりり回バ人をも改々こまよ耕六二月の法田バくハ





[illegible]

漢文帝

漢かんのちち祖そのちちいいみみか
ここのちち名な成なり恒とこととなり
清母せいぼハハ萬まん太たい后こうととなり

仁ニ
考カウ
條リョウ
天テン
下カ

窺 ギ
 々 キトノ
 冠 クニタリ
 百 ハク
 王 ワウ

漢廷事_ニ 眞_一母_{ホニ}

湯トウ
藥ヤク
必カナラシ
親ミタミ
覺ナム

け詩一二のふハ文帝の考
行かう成なりていひり三は

仁孝天下のそとに孝
 仁孝天下のそとに孝

行のたふさな事天



トはみりてわづかりなり。魏々として百王は冠してありき。きつた
つぐがさから事し百王は冠してありき。じうじういふにやままで
の市門の中よりかりく孝行なるをれなりと云ふ之百王といふ事か
ずん百人の王はあらずべし。おろのみかとの中にとまれりこ
そ之冠してある百王のどよ。なぐべしとやめふ心之冠はかりこふ
又之冠はかりあらふ。かざる物なればじういかにしるふ心之漢延々
かぶつゝあるを。んていい文帝の心事之前漢の由ある。賢母
おつゝ六世母まつゝきうぞとぞしるふ湯葉かすゝ親
あひと母のきうめは湯葉食物を。けりうをあて心に
しめて其後なりする之救ふは而然別の天子の由かふてかく
の。ごごこの世事はあつたりし心ざし。いゆへよ。あましく由東
ともしくされごと凍平周勃あんごひきり臣下は孝行せられ
て、外市門ふちへぬつてそこ。それより漢のえんていつなりとら
りよは代もゆきふ民とやすくとまる事し帝の由めくもゆき

楚國の人。又因よの代乃
人ともとり。列女傳とらふよの
ぞり。志こころれ。女をなり。い
ま。後おのふ男おとこふ。わく事こと不い實ざう

蟲 キ	双 サツ	春 シン	戲 ケ
魚 シヨウ	親 シン	風 フウ	舞 ブ
滿 ミツ	閑 ヒライテ。	勤 ウツカス	字 ナブ
卷 テイ	口 クチ	糸 サイ	嬌 ケウ
圍 イニ	笑 ワロウ	衣 エラ	癡 チラ

け詩一二の句ハ老萊子二
人の親ちやハいふより事ハ
之。三にの句ハ親ちやの意をあらわス



[illegible]

とうりのわんまう
 江表安陵こゝふふのふなり
 らうこ
 光莊のみらびすをびふ
 んびく書しんぬのふ
 して母はなをくこ父ふを
 つせしん

夜^カ一^{テニハ}天^{エヒテ}廊^{ニクラヲ}枕^ス一^{シテ}涼

兎 ジ
 童 トウチロモ
 知 ミレリ
 子 コ
 一 一
 賊 ミョク

千一古一黄一香

そうけつ ふとま わてめ わてり
 冬月ふふ食沢過て煖す
 冬 ふふ の ふふ と ふふ 内 ふふ 火 ふふ 父 ふふ



の寝たり。我亦してわてめて寝させたるは父也。又天竺花
沢をひいて凍くもまた。夏のわつさは父の枕床にわき凍く
すかへ児童は子の穢れをとり去る。たまたま童なれとも子うで
ハ、ちやぶ孝のびするをばすりしとて子之子の穢れをとり去る孝行
は子のため、六穢のやうな物也。穢れよこの事。チヤブ黄香は其
年の四、五ふて少く孝の道に知るとの子友といふへと今とて
ふたぐひある事ごとくあり心づくと黄香一人よりめりといふ
▲されど、にはある心ふためある事なりとて。そのあるもの人
人をふれば多く、黄香が孝行を事ばさむらゝりて世との人
もせざるなり。それよりして天下おもしろく。其時の門下帝き
ういひて、いけなきものの名をばさむらゝりて、やうびにたまり
きりて穢れの心切なることとは、たまたま是にばし。悪心をも時
ハ、天人にして、そはいふじこは人の詞多きを

文子騫

因ハ氏あり。名漢子寒といふなり。山東の兗州府の曲阜縣といふ所の人なり。孔子の弟子にて十人まづられたる中の一人に名あり。因みんと孔子とやあそまじ母はなされて継母あり。後の母は二人の子あり。母我子とあひて。ひんぐんばあそむ。蓋のやばとて。こゝろぬは入るをきりや。母もひいてぬえ。ひんぐん。父のちれつ。



因^{ビン}氏^シ 有^{アリ}賢^{ケン}良^{ラウニ} 何^{オノ}曾^{カツテ} 怨^{ウレフニ} 曉^{ハル} 娘^{メウラ}
 前^{ゼン} 留^{トメテ} 奴^{ハラ} 在^{イマス} 三^{サン} 子^シ 免^{ニカル} 風^{フウ} 霜^{サウラ}

國子。えんらうにわります。びんーえん。賢人なりとある事は何も
 さんらうはうゝんと六。つゝさう母も少とうゝじれ事をさ二ばん
 らうと六。のられ母とふ心こそあ母ばどめていすすは。又盡
 うんとせしうた。又ばいあひつづつて母はそのまゝそくは之
 三子風おはまありうと六。二人をさうのらあ六。風おのさむさば
 まあれこりと七。先きまゝにびんー孝行ぬうきよりりて
 天をばあられたまへ母はて我の心よ。さう一あまの古人の
 いふ言はハ。人よあはれ。なぐこれよりと六世調え

姜詩

後漢時代の人がり又ふをく
 きて母ふ孝行せし人なり
 其書と。あうとめふ孝行は
 うきうき母つひふはの水
 このも又免めなすは。この
 あり姜詩我つすふい付て
 六七里のちはへだてをり
 への水はくせきり。有時
 大風ふりて。あうとめ母水
 かけへきり。目書てぬきけ
 姜詩いりて書はさきり。
 あれど書姜詩はと
 と。うと。ひそに。あうと



交の夜也。とあるに細くあらはれざる事なくなげこころを歎
きれども敢て揮ぜんと歎ぐところひつけどもさうにたいし
ぬ。渠ハ膏血ヲ恣すに飽きた。渠ハ歎びて之ハ膏血ニあ
がうつたる身のもじりやらの事で呉猛らうきされわづら
バ歎ふ。あくまでわづらうたをれば。昼間の歎ごとくそ
之。親圍ハ入るむねに泣きぬるまゝありしかくのどくこりうづら
かわるもなごにちやのめハ歎ゆ事なくして。ぢや心やさしい
福とぞ之。親圍ハちやの福といふの事。**▲**歎ハ文字をとりてか
く其孝行の心ありて。づゑに歎ふなり親のなんばすくいきらあ
らうことと。おそれなきこと。いつてさんや。ある人のいふに富春
曰。法然んれびお涙がなほいられきり。さもあるべし。天下
の人々のとき心ありと。みえたるもの。せめて名残をいふは
なとよべし。子同。天地の性人ばきとし。人之行ハ孝より大
きはなしと。歎へし教じへし。

葶
永

ごん
後漢の代々人なり。字代
えんらん
延年と云ふ之を敬まぐく
して。子ひふ人よ。登とて
まそ。かうさくさ。賃ちんを
とりて。目代をうりたり。文
どうたい
年たて。是たがれ車代
つゝあそ。父代のせそ。田た
のわぜふ。なきて孝行は
つぎし人なり。

織 オリ	天 テン	采 サイ	采 サイ
絹 キヌ	娘 キ	父 チ	父 チ
債 ツカ	酒 ヘキ	實 カ	實 カ
債 セイ	上 シヤ	方 ハウ	方 ハウ
金 キン	途 チ	兒 ニ	兒 ニ



孝カウ
一
感カン
盡マク
一
知チ
レ
名ナ

け詩^しハ又^{また}死^して後^{のち}等^{なり}永^{なが}く孝^{こう}行^{こう}の德^{とく}ハ他^{ほか}に

[illegible]

唐丈人

崔南といふ人の妻なり。崔
姓之名。崔瑗といふ唐の持陵の
人。丈夫あり。名。長孫。夫
年老て。万念事。困ふ。を
ど。いふ。ふ。約。夕。乳。代。ふ。を。せ
て。と。ほ。し。ゆ。う。ぬ。や。う。お。し。
孝行。成。つ。く。せ。し。

孝^{カウ}
一
敬^{ケイ}
崔^{サイ}
一
家^カ
一
婦^フ

乳ニウニラ
姑コニ
晨ジニ
盥テフライ
梳クニ

此恩無似報

願 ヲカハクハ
得 エニ
子 シ
孫 ソニ
如 カクノ子也

存^カ取^ケといふのふとハ。かゞけ



八。あうとめお存けつて。やまとなひ事。このふと。寅寅うつま
 なるゆえ。かくいて。乳姑して。はふて。わひ。けけ。ふ。あうとめ
 はう。あて。い。け。子。姑。あう。て。こ。姑。あう。とめ。い。文。字。之。乳。は。ち
 の。事。之。鶏。う。め。て。鳴。て。て。わ。ひ。く。ら。も。き。く。け。け。こ。かん。う
 一。あ。お。香。袋。中。に。入。あう。と。あう。とめ。の。前。お。ゆ。き。て。用。事。は。き。こ。を
 婦。う。ら。も。の。他。は。と。も。く。く。く。く。礼。記。お。わ。り。い。丈。人。か。の。こ。く。り
 あう。とめ。お。付。入。存。け。つ。て。これ。る。こ。が。め。こ。い。息。を。り。て。報。ず。る。事。を
 こ。八。あう。とめ。の。婦。が。め。り。初。こ。こ。も。く。存。け。る。事。を。う。め。い。け。ん。は
 や。う。て。と。が。ト。つ。これ。ぬ。う。ん。お。い。け。み。う。て。う。ら。と。び。る。ば。ふ。こ
 新。子。孫。か。の。こ。も。事。は。え。ん。こ。我。子。孫。か。の。こ。も。存。け。る。事。を。う。め。い。け。ん。は
 て。ば。存。丈。人。お。存。け。つ。て。せ。う。こ。こ。も。や。孫。こ。の。中。お。て。ゆ。い。ん。せ。う
 き。う。と。め。の。心。之。誠。お。婦。あう。とめ。お。中。わ。き。こ。の。と。世。の。こ。も。こ。お
 と。い。い。な。う。う。き。る。お。は。丈。人。の。こ。も。か。う。く。け。つ。て。ゆ。い。ん。お。と。お
 う。ん。と。や。う。せ。う。ん。や。き。せん。ん。ん。を。け。す。は。い。へ。い。あ。う。へ。い

楊香

魯國の人十五のうと
 と山へ行て飢る虎
 わいまり。それと存け
 の心。うと。さ。う。り。て。あ
 子。も。お。難。け。の。け。ん。こ
 深山。白。顔
 好。力。抱。腰。風
 父。子。俱。云。恙
 脱。身。口。中
 深山。白。顔
 好。力。抱。腰。風
 父。子。俱。云。恙
 脱。身。口。中



[illegible]

孟宗

呉國の江表とよ赤の人
 晉の武帝にけりて
 監池司馬とよ赤に
 池池を行きある者
 時奥
 の池池母のうへにけり
 まる母とて、よ赤に
 奥とてなりて、よ赤に
 池池にけり、池池の
 と。よ赤にけり、よ赤の
 たびひ、よ赤にけり、よ赤に
 まる母とて、よ赤に



洞オニタヲ
滴ミタデ
朔サク
風フウ
迄サマ

行は不の。ゆゑにせんぬの。ゆゑに人國て。門ふ。ゆゑに。そうもん。て。ま。
かのまふ。つけ。ゆゑに。ゆゑに。ゆゑに。天下。お。ゆゑに。なり。ゆゑに。

七^{シフ}一^一歳^{サイ}生^{イキテ}離^{ハナレ}母^{ハニ}參^{シン}高^{シヤウ}五^ゴ十^{ジウ}年^{ミン}

一 朝 相 見 面 喜 氣 動 皇 天

七也。生て母ふらるゝと云。古の時に父が母におひ出せしゆふ。いさこれ
 けりもよくぞ。参商さんしやう五十年と云。参商ハ秋あきばかりあることよむせり。母
 おろれしより。ばつて五十年ありと此事一節面ばかりあると云。来
 夢冒天道ふさせしめて。わけられ母ばかりく。やりふゆへ天道あは
 きてもすひて。ある時おもはめたり。わかれこそいふ心と云。氣皇天きかうてんなり。こ
 りと云。我われはうちうちをといふまじ。母と。もぐりやうと。名なのりあて
 たふふ。よろこび。おほきと云。きき。天地のあらざるうちに。うごく。やう
 おわる。この心へ。我ふことをわづ。らんあの中ちゆうは母のたまひ。りそめたた
 ひだしくあひ。あひあふ。五十年のらふあたる時のたれとけりや。

曾冬

山東兗州府嘉祥縣の人
孔子の弟子曾子のるる
家いふづぐいふをれど道みちはま
あびて万統たうの傳てんはつと
るる人

舟フネ 捐シ 纒ワカニ 方ヘ 吹カム

児心痛不禁

負 薪 帰 未 晩

膏コウ
肉ニク
至シ
情ジヤウ
源ゲン

母摘^ば摘^り方^は方^は六^そ曾^{そう}冬^え
か^るあ^とふ。人^{ひと}き^きり^りき^きれ



はいまかきうーとなりひて母ゆひけくうーわがたふじとわ
 こころうーの思心ゆんでたふじとわ。思心うーとふ家あて。そふ
 か事心いひひの山よ。たふけ。そりて居きふ。候ふひひうーとて
 そふぐさふ。母のふさうーとふふ一秘んと。そふあんつひく孝行
 の心と。つうーとふの負薪て。ふふといまこをそかふじとわ。そ
 けまふる冬うゆりふる。骨肉ふやうさうさ。わやこのる候ふ
 かり。とふふ。やひふて父のたん。あふ。ふひふて母のたん。至
 情とわ。わやこのる。なふけ候ふ。うーてゆびげうーたわ。そのい
 たふ。そふあんぐじひへ。うふけ。そふとく候ふ。たわこのる
 うふとんぐふ心。そふてふる冬。の事。ふふかりて。心と心の
 事。候ふのふり。ふふい事。ふふふふふふふふふふ。わやか
 くふてつひのふふふふふふふふふふ。母の心。ふふふふ
 まふふ

玉祥

魏の代れ人なり。いふけなく
 して母ふをかれり。父
 書代持名代来す。ふ
 かり。継母のふふふふ
 父ふれ中代わ。ふふふ
 て。あふ。せきれとふ
 こと。たふふふふふて。か
 く。は。は。う。ふ。ふ。ふ。

継母一人間有
 玉祥天下
 至今河水
 一片水換



母人同ふありといふけいごとよもの人るれ申ふありといふ
 事王祥天下あなりといふまにひびく。母といふもの世と
 おくさんありてまふびあひひものあるが王祥がやうある。母り
 孝行あるもの天下あなりといふあて他もろく。今に至て河水と
 といふ母のさむきふ生うと。祥ひきれば王祥其まう。聖業を
 府といふ河の川へゆきて魚をとりてめきれども。氷とらて更ふ魚を
 ゆる事あり。せんうとあり。裸ありて氷の上ふゆきまれば魚二ツ
 づりせらる。其事やどく。一斗氷換ふゆき。王祥氷の上ふゆき
 づりて。ありと。ほの世すてある。氷換ふ。氷はこり。換ひこと
 といふ。王祥がすぐこの氷の上ふゆき。いこて。ゆきう
 ころやうありと。これ心。誠孝行の心天理ある。其氷の上ふゆき
 事。未代の人れき。このふ。せしめ。王祥がどく。孝行ひつてせ
 ば。かゆきありと。天より。あ。又。孝行あるふ。鬼心
 お入り。わびと。め。か。が。ろ。げ。子。孫。を。絶。え。天道ある。ふ。か。

蔡順

後漢の代乃人汝南といふ
 不仕きり父ふをれて母
 代やいふ其法王莽といふ
 子の乱代にう。天下乱
 飢饉ふれ食ふにふけ
 まは母のためふ煮のふひ
 ろひ人なり

黒 樵 奉 親 園
 啼 飢 洞 満 衣
 赤 眉 知 孝 頃
 牛 米 贈 君 帰



[illegible]

南齊の内人^{えん}の麻^{えん}凌^{りやう}
 縣^{えん}と^{ところ}子^{えん}所の官人^{えん}なり
 たりて^{えん}げ所^{えん}ふゆきけ
 る^{えん}が^{えん}いも^{えん}て十日^{えん}あとな
 ら^{えん}る^{えん}ふ^{えん}俄^{えん}ふ^{えん}じか^{えん}さ^{えん}
 ぶ^{えん}志^{えん}き^{えん}れ^{えん}ば^{えん}父^{えん}の^{えん}規^{えん}り^{えん}ふ
 あ^{えん}や^{えん}と^{えん}な^{えん}残^{えん}す^{えん}る^{えん}あ^{えん}り
 き^{えん}れ^{えん}い^{えん}あ^{えん}ん^{えん}の^{えん}ご^{えん}と^{えん}く^{えん}父^{えん}
 義^{えん}事^{えん}き^{えん}り^{えん}て^{えん}縣^{えん}吏^{えん}醫^{えん}
 師^{えん}ふ^{えん}り^{えん}あ^{えん}り^{えん}ば^{えん}い^{えん}き
 ぶ^{えん}病^{えん}人^{えん}の^{えん}あ^{えん}ん^{えん}残^{えん}あ
 め^{えん}て^{えん}み^{えん}ふ^{えん}あ^{えん}す^{えん}く^{えん}に^{えん}が
 く^{えん}は^{えん}り^{えん}る^{えん}く^{えん}と^{えん}ふ^{えん}



こころをわけてくれわづらひ醫師のつひきりといふ速てはし
くべ。涙をうけて父の死せん事ばかり。お計の案を
いのりて。我身がよりみ多し。ときせひ。きり程のなすめ

到^{イタリテ}縣^{ケンニ} 未^{イダ}旬^{シユ}一^{シツ}日^ニ
椿^{チン}庭^{テイ} 遘^{アヲ}疾^{マニ}一^フ涼^{カキ}
願^{ミカクハ}將^{モツテ}身^{ミラ}代^{カレン}死^{シニ} 北^{ホク}一^{サクニ}理^{モラス} 啓^{アイ}憂^{シニ}心^ラ

縣よりいまだ旬目をあらず。醫者せんやうりていまだ月敷を
うぬぬし。椿庭疾涼ふよ。らんていふ。父は子に。なりひの
かな。なりき。うづ。ひが。つ。き。こ。と。こ。我身がよりみ多し。ときせひ。きり程のなすめ
と。祿が。く。い。我身が。よりみ。多し。ときせひ。きり程のなすめ
者。行。ぬ。き。い。う。ひ。か。う。小。組。ふ。憂。心。は。り。も。と。く。や。う。こ。と。は。お。計。の。案。
一の事。憂。心。は。り。も。と。く。や。う。こ。と。は。お。計。の。案。
り。う。い。わ。げ。て。天。の。い。の。り。な。り。と。い。ふ。事。こ。と。は。お。計。の。案。
又。は。は。よ。の。わ。ん。や。子。曰。存。莫。大。於。敬。父。と。い。ふ。人。の。心。お。計。の。案。

山歌

東坡の人。詩。東坡の人。
みなり。家。富。き。あ。り。て
人。わ。ま。こ。め。う。づ。み。い
こ。なり

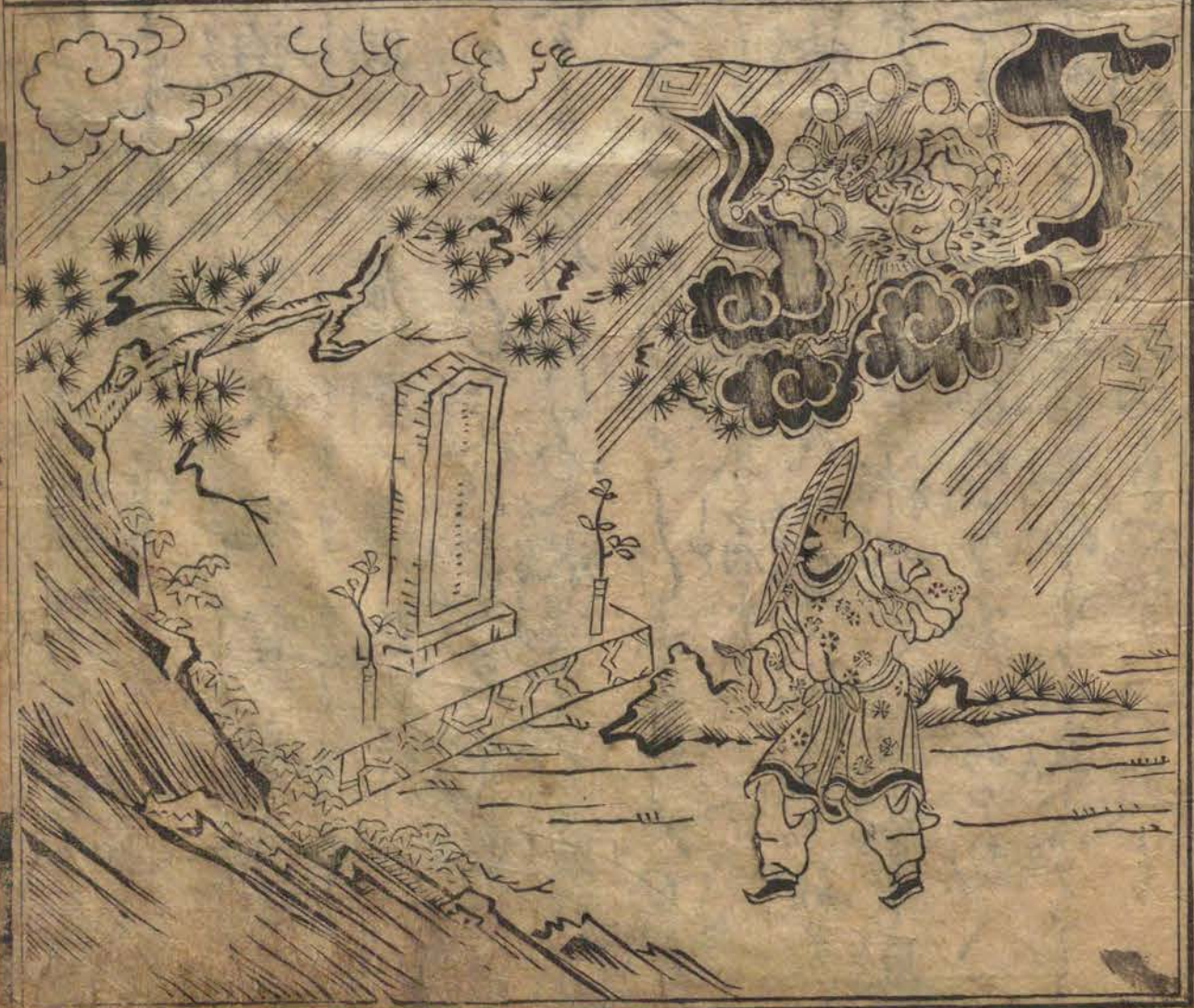
貴^キ一^{ケン}願^{カヨ} 圃^ニ天^テ一^{カニ}下^{カニ}
平^{ヘイ}一^{ロイ}生^{カウニ} 孝^ニ事^{ワカフ}親^{シニ}
汲^{クニテ}泉^{イツミラ} 消^{アラフ}溺^{ニヨウ}一^{キラ}罟^ニ
婢^ヒ一^{ロウ}妾^{アニ} 豈^ヤ無^{オホニ}人^{ヒト}

さ。け。ん。て。ん。の。き。こ。る。こ。は。山
官。職。た。り。き。れ。い。甚。か。名
て。ん。ふ。や。れ。き。こ。と。こ。



平生なりて親おつめうさ。ひく孝行ありて。ねやふくつ
人一人おてわさくめさる之。泉を汲て。おささばわらふさ。
母の座ぬれぬ。ふくく大小便ばうり。きくさあて汲て。きづれた
お入おだてて。くくわさる。きくさあて汲て。きづれた
の孝行也。婢妾宣まけんや。ひやうさ女のつひよの事。
母おつさる。きくものなきや。あかり。くさんお。あき。く。く。
くくさうおせ。くく事。なり。きく孝の。くく。道ばあらた
かくな。くくわさる。くく。これ。天下お。きく。さうして。くく。
民人。くく。佛曰。父母忽有染病。自看視。不委大小。く
賤。不離牀邊。是父母恩重。經之文也。孝の心。ぬき。ゆく。を。の。つ。
佛。きく。あ。く。く。なり。く。わ。り。く。く。の。り。く。なり。く。

晋の國^{こく}をいん^{いん}こ^この所^{ところ}の
 人^{ひと}に賢^{けん}人^{じん}ふてな^なを位^ゐ
 とはびま^まうく^くてと
 した。そ^そうあ^ある事^{こと}と知^し
 かり^{かり}て^て世^よに^にさ^さへ
 有^あり^り父^{ちち}の王^{おう}を^を罪^{つみ}す^すて
 帝^{てい}文^{ぶん}帝^{てい}ふ^ふこ^ころ^ろに^には^は
 是^{こゝ}に^にさ^さへ^へと^とり^りあ^ある^る文^{ぶん}帝^{てい}
 の^のな^なに^にま^まん^んか^かへ^へび^びく^く事^{こと}
 あり^{あり}。其^{その}力^{ちから}に^にあ^ある^るて^ては^は
 き^きり^り我^{われ}み^みど^どお^おは^はし^し人^{ひと}ぬ^ぬと
 思^{おも}ひ^ひて^て父^{ちち}の墓^もふ^ふき^きて
 柏^{かしわ}の本^{もと}ふ^ふれ^れつ^つて^てあ^ある^るけ



本像のごあひへと本像はたへなりと書ふ三年候に
 させきれば一木風吹ぬなりと本像より門へぬきりそれより
 何事といは像よりいふきり

刻^キ本^キ為^ナ慈^シ母^ボ形^ケ容^ヨ在^ザ目^メ身^シ
 言^{コト}法^{ハフ}子^シ姪^テ聞^キ早^{ハヤ}孝^{カウ}其^{コノ}親^シ

本像刻慈母はなりと母のごとく本はふきり事へ在目の
 身は形容とは生て居りしうすうとらぬとく
 ふうふうと心の言は法子姪は世の中れ人の子なりとの
 ことなりしうすうこれなりかきん親は孝行はせし心へ
 聞早其親は孝せしうすう丁蘭の孝行はきいてむとけりいゆ
 なくもやく孝行つてせよと行へる孝子之事親也事死如事
 生と先哲人の訓おわるるものと

張孝張礼

兄弟あり世間さん此時
 八才あり母はな
 あり家づてて

偶^タ值^ア緑^リ林^リ児^ジ
 代^カ熏^ニ云^イ瘦^ソ肥^ビ
 人^{ヒト}皆^{ミナ}有^{アリ}兄^{ケイ}才^{タイ}
 張^{チヤウ}氏^シ右^コ今^{コノ}稀^ヒ

偶^タ緑^リ林^リ児^ジのふり
 張^{チヤウ}氏^シのふり
 ゆききりお



らやーの中へて張れおわいさるゝ縁林さみりのもやーこ
 らへてぎりてふ事ゝ見えらるゝこゝし又まゝ張れが事ゝ喜ふ
 代て瘦肥はみさる盗人とも張れはうらこりて喜て
 りんこゝ其阿張れいさう我老ら母は持ちさういさゝ食を
 まゝせださういい海はうまな母は含代わうて其はうふ
 あゝん先いはいりあわさるゝ明代さうきれ盗人ゆゝり
 張れゆりて母は含代まゝせては所へゆきまゝ兄の張れこれ
 張きいて又わさうゆきて我は張れよりう肥り含代め
 らるゝ我はこりて代はこりけりさういさう又我さうめ
 らりのやうさうこゝてまゝ代わさういさう先は含代とさ
 瘦肥さる瘦は含せり肥はこへるゝいさう人皆は力わらゝ人
 あゝれともさる力のみさういさうかゝのさういさうい
 うらゝさうこゝて張れ古今稀なりさういさうかゝる力
 はまゝてたゞいさういさう盗人ともはびんど米二石は法わさ
 かりをさるゝ

田真田廣田慶

け三人は力なり又肥
 ては成るはさうい
 しててさういさうい
 樹こて木わりそれ
 とさういさういさう
 こゝ其はれさうい
 お心さういさうい
 ためはさういさうい
 海底紫珊瑚
 群芳総不如
 春風花満樹
 兄力後同居



陸績

呉の國此人なり六川の事
 意述えんじゆ三人の古へゆき
 きりふ菓子ふ橋渡せり
 陸績ひそに先汲りて
 袖ふまてふりさぬ
 どりたりきり意述先
 汲りてはふかき人おあ
 らぬ事なりとさうひけ
 きりふくせさふやう
 わきり。足事ふ人いぬ
 けり人いぬなりとさ
 きり意述きいてたさ
 か心り。やう此事は



孝^{カウ}
一
悌^{タイ}
一
皆^{ミナ}
一
天^{テン}
一
性^{セイ}
一
人^{ニン}
一
間^{カン}
一
六^{リク}
一
歳^{サイ}
一
児^ジ

袖スリーブ
—
中ナウ
懷イダク
ニ
縁リヨウ
—
櫛キツラ
—
送ソウワテ
レ
母ハニ
報ホウス
ニ
含カン
—
飴イ

孝悌といふ。孝の心は子に皆天性といふ。孝ふ。たう。孝と人れば心あり。さや
 とう。う。も。れ。つ。こ。子。心。て。天。より。け。る。る。氣。あり。あ。う。で。は。は。や。う。た
 わ。る。ま。う。き。と。ま。う。て。人。間。は。父。の。児。とい。お。父。の。児。とい。ふ。事。人。間。は
 父。を。う。て。は。か。ん。娘。の。ま。う。て。は。あ。る。ま。う。き。て。神。中。縁。橋。は。い。と。く
 とい。神。の。う。ち。に。橋。は。か。う。う。る。事。縁。橋。は。う。い。う。く。あ。あ。く。ー
 う。う。た。ち。を。は。事。母。を。送。て。合。給。ふ。報。い。とい。う。ん。い。い。あ。う。く。う。と
 い。は。は。母。を。わ。く。う。て。合。せ。う。せ。う。う。と。い。ふ。又。は。心。は。安。て。遠。く
 ん。い。ま。う。ゆ。へ。う。それ。う。や。う。き。事。あり。と。て。母。れ。り。人。に。なり。う。ら
 とい。心。を。わ。り。い。や。う。き。事。あり。

迦夷王カイヤの人ひとなり三親さんしんふ存

老^{ラウ}親^{シン}思^シ鹿^{ロク}乳^{ニウ}

身ミ掛カケル褌ハカマ毛モウ衣イ

若モシ不スバ高ナリ声ミヤシニ詔カク

山カミ中ナカ帶オビ箭ヤ飯イ

老親鹿乳^子を食ふに老

乳^ちは^ちか^ちく^ちお^ちも^ちん^ちの^ちち^ち
鹿^ち乳^ちハ^ち鹿^ちの^ち乳^ちの^ち事^ちなり

襦す襦ろ毛けの衣ころもは

吳郡皮江



